

# PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

## 続報 No.333

2022.08/13 (土曜) 13:00 発表

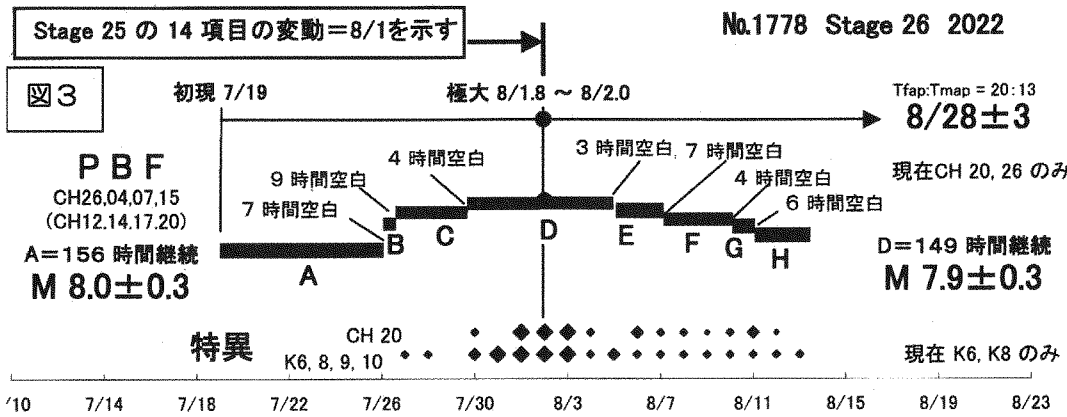
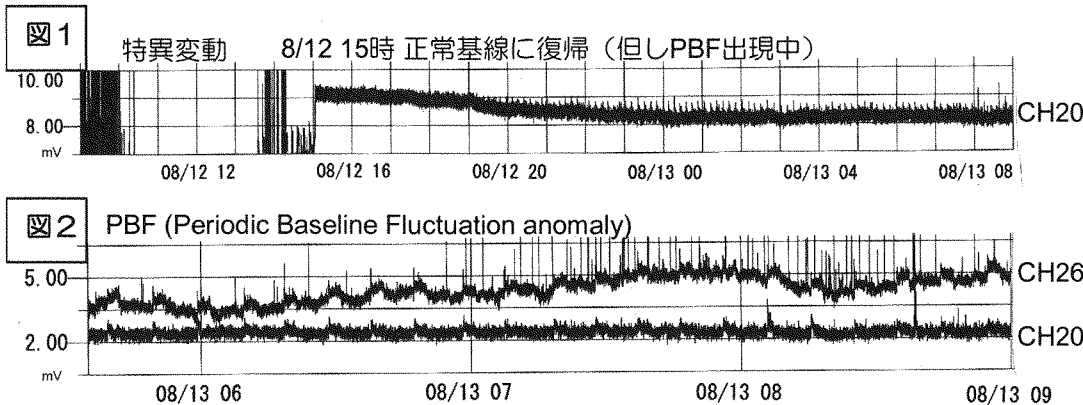
図1 八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

### No.1778 長期継続前兆 続報 PBF継続→先行特異は誤認識 8/28±発生の可能性検討 過去例のない 初めて体験する PBF 出現形態

前続報では8/11or12に更新できればと記しましたが、本日8/13のデータを確認した  
かったため、本日8/13の更新となりましたこと、お詫び申し上げます。

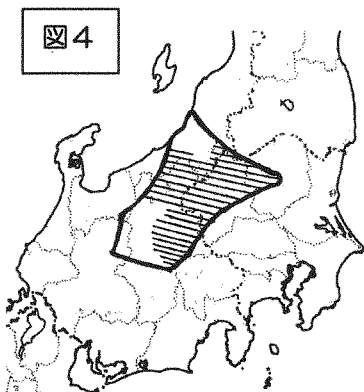
八ヶ岳の複数観測装置  
にシンクロする同期出現  
のPBFは、出現観測装置  
数が減少しました。特異  
変動が継続していた八ヶ  
岳のCH20が8/12 15時に  
静穏化(図1参照)。

PBFを記録していた八ヶ  
岳のCH26は8/12日中から  
不規則になりだし、終息  
の可能性を見せましたが、  
全体的には継続し、本日  
8/13時点でも継続出現中  
です。特異が終息したCH  
20にもCH26とシンクロ  
するPBFが出現中(図2  
参照)。現在出現中の  
PBFはCH20とCH26のみ。  
高知観測点のK6,K8の特  
異変動は継続出現中。



これらの観測事実から、  
7月下旬に156時間継続  
出現したPBF(図3のA)  
は先行特異ではないこと  
になります。PBF出現過  
去例でこのような出現形  
態はありません。このこ  
とからAを先行特異と考  
えた次第でした。初めて  
体験するPBF出現形態で  
す。

### No.1778 対応地震 推定内容



- ◆ 推定領域：図4太線内領域(火山近傍領域)  
斜線域=可能性考え易い参考推定領域
- ◆ 推定規模：M8.0±0.3  
地震に伴う近隣火山活発化or噴火=完全否定は困難
- ◆ 推定時期：2022年 8月28日±3の可能性検討中  
8/21±前兆変動終息を確認して修正予定
- ◇ 推定地震種：震源浅い陸域地殻地震
- ◇ 推定発生時刻：AM 9:00±2 又は PM 5:00±3

図3のAが先行特異では調  
和しないことから、前兆変動  
初現と認識するしかありませ  
ん。7/19を初現、極大を8/1.8  
~8/2.0として、Tfap:Tmap=  
20:13 経験則で計算しますと、  
8月28日±3時期発生の可  
能性が計算されます。この場  
合、8月21日頃に前兆変動  
終息の可能性が計算されます。  
これを確認して地震発生日を  
計算したいと考えます。